

お知らせ

記者発表資料 配布日時	平成28年10月12日 14:00
----------------	----------------------

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、岡山県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ



**中国地方整備局管内におけるモデル「道の駅」の認定について
～全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与します～**

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、その重要性が高まっています。

国土交通省では、全国各地の「道の駅」の模範となって質的向上に寄与する“特定テーマ型モデル「道の駅」”を新たに募集したところです。

この度、“住民サービス”をテーマとして募集し、有識者懇談会における審議・選定を経て、全国で6箇所のモデル「道の駅」が認定され、このうち中国地方でも1箇所認定されましたので、以下のとおりお知らせします。

■モデル「道の駅」＜国土交通大臣認定＞

○平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」 認定数 1 駅

・鯉が窪（岡山県新見市）

※認定対象の詳細は別添資料のとおりです。

○認定された「道の駅」は、全国の「道の駅」からの視察及び講師の要請に対応するなど、「道の駅」の質的向上に貢献する役割を担います。

＜問い合わせ先＞

中国地方整備局 082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

道路部 地域道路調整官 田中敏彦（内線4118）

【担当】道路部 交通対策課長 常松宏（内線4211）

【広報担当窓口】

広報広聴対策官 坂屋政之（内線2117）

企画部 環境調整官 松本治男（内線3114）

特定テーマ型モデル「道の駅」の概要

- 地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段として、「道の駅」の重要性が高まっている。
- 全国各地の「道の駅」の模範となって広く周知することで、質的向上に寄与
- 「道の駅」が有する個々の「機能」が異なる点を踏まえ、模範性を高めるために、テーマ（部門）を設定
- 平成28年度は、テーマ（部門）として“住民サービス”を設定



平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

国土交通大臣認定

中山間地域及び漁村地域等において、高齢化社会に対応した地域福祉向上のための取組、地域課題に対応した住民生活支援のための取組、小さな拠点形成を目指した取組など、公共の福祉を増進することを目的とした地域住民へのサービス向上に資する取組を、現在実施し成果をあげているもの

(認定の流れ)

平成28年度 住民サービス部門
モデル「道の駅」の募集



内容の確認



「道の駅」有識者懇談会での審議・選定



国土交通大臣による認定



認定証授与式

「道の駅」有識者懇談会

委員長：石田 東生〔筑波大学大学院
システム情報工学研究科教授〕

楓 千里〔(株)JTBパブリッシング
取締役 法人情報事業部長〕

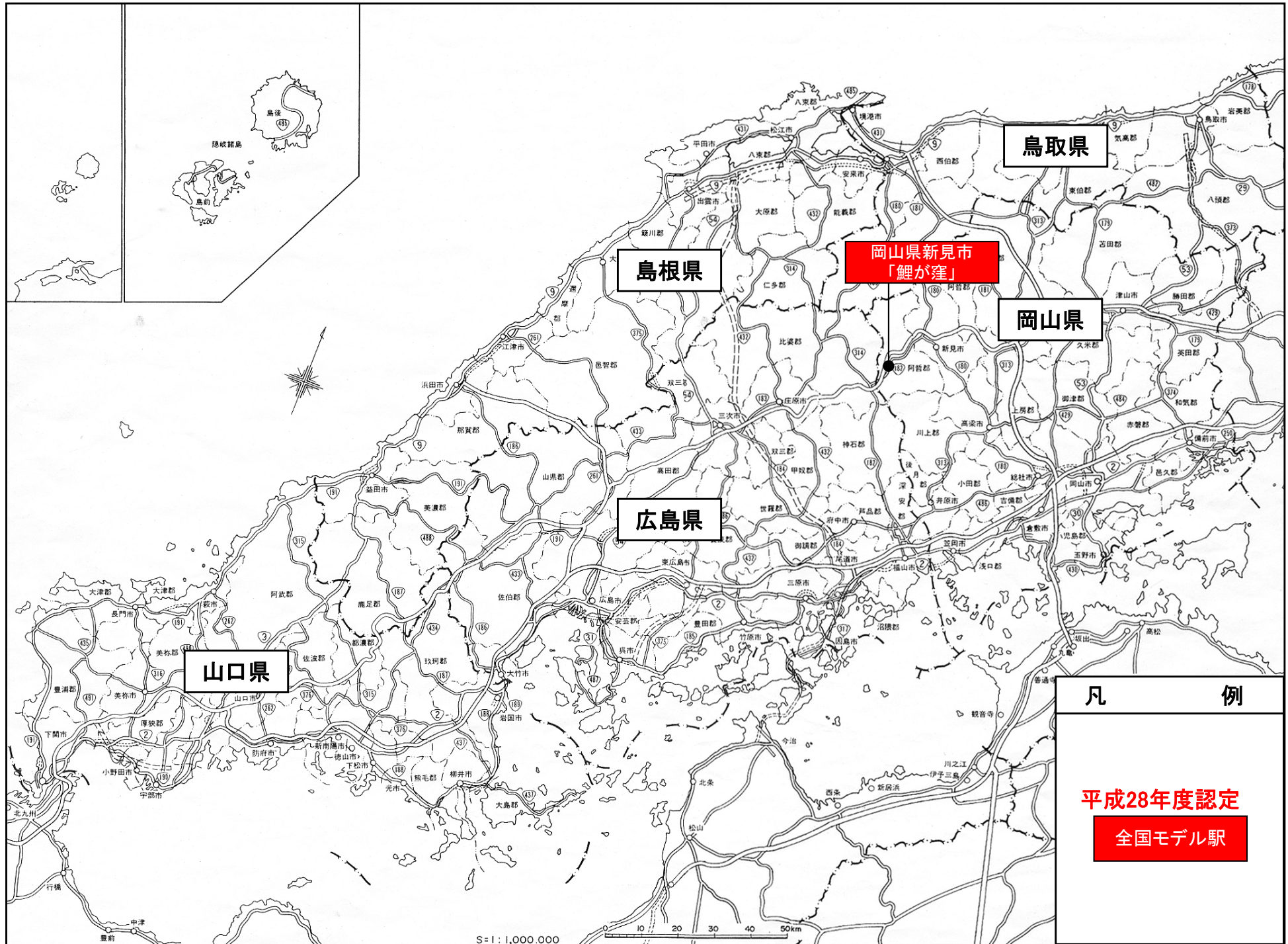
篠原 靖〔跡見学園女子大学
マネジメント学部准教授〕

根岸 裕孝〔宮崎大学
地域資源創成学部准教授〕

山田 知子〔比治山大学
現代文化学部教授〕

(敬称略・五十音順)

中国地方整備局管内のモデル「道の駅」認定箇所（全国モデル「道の駅」）



凡 例

平成28年度認定

全国モデル駅

- 地域づくりの計画から運営まですべてにおいて住民主体を掲げ、地域コミュニティの形成に大きく寄与
- 診療所・図書館・認定こども園・行政窓口・「道の駅」の産直市等の地域振興施設の機能を集約することによりワンストップサービスを実現し、先進的な「小さな拠点」を形成
- 「道の駅」を中心としたデマンドバス等の運行や宅配・安否確認サービスの実施など高齢者に優しいサービスも提供



道の駅「鯉が窪」
岡山県新見市
人口 約31千人
面積 約793.3km²



ワンストップサービスを実施するための施設・取組

- ◆住民から設置要望の高かった内科・歯科診療所
(内科利用者数は年間述べ10,017人・歯科利用者数は年間述べ3,122人)



- ◆若者世代の子ども子育て支援としての認定こども園 (園児数は55人)



- ◆地域コミュニティの中心として文化ホール・栄養改善室・調理実習室・研修室・創作活動室・音楽室・和室を設置

- ◆年末年始、蔵書点検4日以外は無休の図書館 (年間貸出数は約80,000冊)

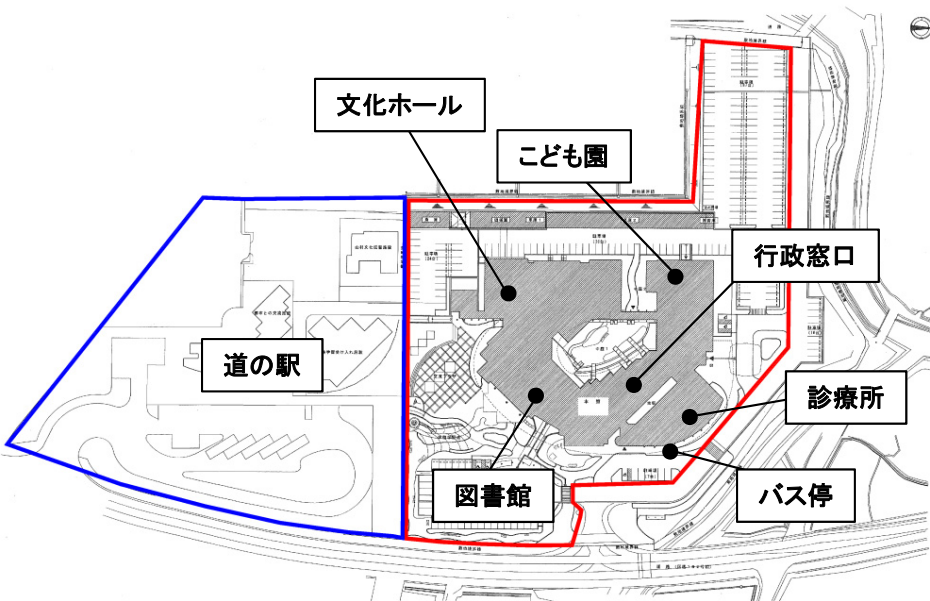


- ◆高齢者のために「道の駅」を中心に路線バス・デマンドバスを運行



- ◆行政の窓口として機能している哲西支局 (窓口取扱件数は3,082件)

- ◆「道の駅」が、学校給食配送・宅配サービス・高齢者の安否確認を実施



【参考】平成28年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」



【参考】平成 28 年度 住民サービス部門 モデル「道の駅」

都道府県	市町村	設置年度	駅名	主な特長
埼玉県	おがのまち 小鹿野町	H11	りょうかみ やくし 両神温泉薬師の湯	町が「道の駅」を地域福祉の拠点として位置付け、高齢者の生きがい作りの取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
岐阜県	たかやま 高山市	H14	さとしょうかわ 桜の郷荘川	まちづくり協議会への積極的な参画・連携により、住民ニーズを踏まえた健康増進の取組を展開し、地域住民の交流の場として機能。
京都府	なんたん 南丹市	H17	みやま 美山ふれあい広場	住民自治組織が中心となり、行政サービスや福祉サービス等の機能・施設を連携させ、総合的な拠点を形成。
岡山県	にいみ 新見市	H9	こい くぼ 鯉が窪	計画から運営まで全てで住民主体を掲げ、行政窓口や診療所等を集約してワンストップサービスを実現した「小さな拠点」を形成。
香川県	しょうどしまちよう 小豆島町	H8	しょうどしま 小豆島オリーブ公園	「道の駅」を福祉施策の中核と位置付け、オリーブ販売等による収益を福祉関連施設の運営に還元することで住民サービスを実現。
宮崎県	にちなん 日南市	H11	さかたに 酒谷	「道の駅」の収益を自治組織に還元し、住民主体で「道の駅」を地域の自治・交流活動の拠点として育て、「小さな自治」を形成。